



完全保存版「自然素材住宅塾」



今の住まいと将来の住まいに役立つ情報満載

こんにちは。駿河屋の九代目当主一樹です。
大分涼しくなってきましたね！もう秋の足音が聞こえてきました。これから寒くなるにしたがって気になるのがインフルエンザや、室内の結露。結露はカビを発生させ、それを食べるダニが発生し、アレルギーや喘息などの原因になることから、住宅に結露はなるべく少ないほうがいいですね。今日はそんなお話。
それでは、今月も子育てママにお役にたてる、おうちの中で大切なこと、発信します！

【インフルエンザ・カビ・ダニを防ぐには、室内は湿度何%にする？】

人は生きている間、呼吸を止めることは出来ません。
しかし、毎日吸い込む住まいの空気が、ダニやカビなど微生物で汚染されているとしたらちょっといやですよ。
住環境は法改正などで大きく改善されてきましたが、ぜんそくやアレルギー疾患の患者は少なくなっていないのが現状です。

シックハウスという言葉は、すでに一般的になりましたが、建材から発生するホルムアルデヒドなどが放出されて疾患となることだけではなく、もっと広い意味でのことを指すと私は考えます。

例えば、室内温度のムラだったり、湿気の多さ、カビ、ダニなどの室内微生物汚染、冬の寒さや夏の夜の寝苦しい暑さなど、室内環境が原因の健康障害を起こすもの全てが「シックハウス」という概念に当てはまると考えます。

その中でも、室内の微生物汚染は、現代の住宅においてとても深刻なのはやはり「人の居るところには微生物も必ずいる」ということです。

強い薬で絶滅させようとしても、人間も同じ生物なので、人体にも影響が出ます。
やはり、住まい手側の正しい知識と、生活改善、室内環境の改善をするための設備や

家づくりを行うことで、許容できるレベルまで抑制するしかないんです。
では、繁殖を抑制するにはどうしたらいいのでしょうか。

カビは生きる為に適温がありますが、-10度から50度までと言われているので一般の住宅の年間を通した温度と同じなんです！

一般的に湿度65%以上で繁殖し、湿度が高ければ高いほど、繁殖速度が速まり生息する種類が増えます。

(*_*)想像すると恐ろしいですね～！

インフルエンザが気になるこれから寒くなる時期、菌繁殖も考えると40%から50%程度に室内の湿度を抑えることが大切なんです。

でも寒くなっていくこれからの時期、室内干しや夜の調理や入浴での湿気・結露を抑えるのはなかなか難しいです。

なので、室内の湿度を調整してくれる内装材である「珪藻土」（けいそうど）や無垢の木の床などにすることが、とってもとっても効果的なんですね

去年の夏にリフォームをされたU様から嬉しい報告が冬にありました。

リフォーム前にくらべて結露がほとんど無いとのこと。ペアガラスも壁面断熱も大切ですが、仕上げ材に純度の高い信頼できる珪藻土を採用したことが大きな理由となっております。

お客様であり、ライフオーガナイザーのU様のブログで詳しくご紹介されておりますので是非参考にしてみてください。

★新米ママへ～頑張らなくても片付く暮らしのヒント～

「ウェブ内覧会」 「リノベ後初めての冬は」 「結露知らず」で検索してみてください。

もっと詳しい内容を知りたいと言う方はメルマガ
社長の「自然素材住宅論」はこちらからお申込できます。(短縮URL)
ニックネームでの登録も可能です。 <http://p.tl/h4XH>

